

【生ごみ処理機器モニターレポート Vol.38】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声をお届けしていきます。



2人世帯向け電気生ごみ処理機のモニターさんです。

こちらのモニターさんにも「電気生ごみ処理機の使用によるごみの減量は、生ごみが衛生的に処理できること（生活の快適性）、ごみ袋の節約（経済的効果）、将来に向けた地球環境への影響改善（環境的効果）などの効果があると思いますが、あなたにとってはどれが一番重要ですか。」という質問をしてみました。

答えは同じく衛生面（生活の快適性）だそうです。生ごみを「臭うもの」「触りたくないもの」にしてしまわないように処理できるところが良いそうです。

また、前回、電気生ゴミ処理機とストーブ前でみかんの皮の乾燥実験をしてきましたが、追加報告だそうです。みかんの皮を紙の袋に入れて、袋の口をストーブの熱風が吹き込むようにセットするといい感じに乾燥できたそうです。生ごみ処理機が無くても工夫によって生ごみの減量ができるようです。

【令和4年度生ごみ処理機器モニター事業について】

今年度、釧路市では生ごみ処理機器のモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声を参考にして生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp